



役員だより

野菜の機能性と「園芸療法」について

関西サナトリウム
院長 花房 辰哉

人生100年時代、我々が人生の最後まで元気に楽しく毎日を送るためには、『食』は極めて重要です。とりわけ野菜や果物のバランスの良い摂取は、生活習慣病を予防し、心・脳血管やがん等の疾病のリスクを減らすのでは、と期待されています。また、適度な野菜の摂取は心理的ストレスの発生の軽減にも関連していると言われています。また、野菜や果物など植物の「食する」といった要素以外にも、植物は「眺める」「育てる」「採取する」等といった要素ももっています。

「園芸療法」とは、植物を「眺める」「育てる」「採る」等の園芸活動を通して、何らかの原因で心や体を病んだ人たちの心をセラピーとして活用してゆく療法です。私はかねてからこの「園芸療法」に関心をもってきました。植物と過ごす時間で我々の心はなごみ、植物の世話をすることで満足感や達成感が与えられます。何より周囲とのコミュニケーションをはかることによって、社会の中で自分の役割や居場所がみつかるかもしれません。

植物は我々人間よりはるかに環境の変化に強く、たくましく、器用に生きています。このような植物にならない、今後も「園芸療法」と強くかかわっていかねばと思っております。加えて、植物を通して社会生活における心の回復・健康の回復を願う方々の気持ちに少しでも触れれば幸いと存じます。

令和元年八月一日



看護部だより

看護部次長就任の挨拶

関西サナトリウム
看護次長 杉本 学

「令和」という新元号となりこの区切りの年に看護部次長、3病棟師長という役割に就きました杉本学です。看護に携わる仕事に就いたのが20歳で今回関西サナトリウムに就職したのが50歳でした。改めて考えてみれば区切り区切りで人生が進んでいるように思います。

看護部次長、3病棟師長という役を任せられた言葉もいつも気にして業務、仕事をしているつもりです。その言葉というのが『金を残すのは3流、名を残すのは2流、人を残すのは1流』という言葉です。

誰がいつ言ったかわからない言葉で本来の意図する意味もわからないのですが自分なりの解釈として「お金があれば幸せになれる」と思いがちですがお金が目的ではなく幸せが目的だということだと思っています。

「人を残すのは1流」という言葉は自分の子供を残すという意味もあるとは思いますが今の次長という自分に置き換えてみると関西サナトリウムの看護スタッフを残すという使命があるのではないかと考えています。

今後も関西サナトリウムで仕事をしていくうえで自らの自己研鑽と看護スタッフがモチベーションを持ち続ける業務、仕事ができるようにと思っておりますが師長というのは祭りという神輿だと考えています。

神輿は一台で動くこともできません担ぎ手が如何に担ぐかによって躍動的で美しく見えるかによります。皆の協力がなければ何もできないのです。その為に人を残すのが自分の使命だと考えています。今後も皆様に協力ご支援をしていただきまして日々頑張っていきたいと思っております。

令和元年八月一日

編集後記 後輩のM君が退職することになりました。ムードメーカーだったM君が去るのは寂しいものです。そんな感傷的な私を余所にオカルト大好きなY主任はM君に「君は次の職場でオーパーツ(未知の部品)になれ。」とドヤ顔で一言。Y主任あなたも関西サナのオーパーツなんですよ。(小声)

総合リハビリテーション課だより

総合リハビリテーション課では新たに1名の入職者を迎えました。また養成機関から作業療法士の臨床実習の受入を行っています。実習生との交流から、指導職員は初心に帰り、業務に対する姿勢や振り返りを行う機会となっており、良い刺激になっています。

新入職員の紹介

令和元年6月1日付で総合リハビリテーション課に配属されました義永瑞樹と申します。

作業療法士の助手として、業務サポートや患者様が笑顔で元気になれる支援が出来るように一生懸命頑張ります。まだまだ経験や知識共に未熟ですが、一人前になれるように勉強していきます。また趣味はドライブと野球観戦です。色んな所に出かけたり甲子園で応援しています。よろしくお願いします。

作業療法士助手 義永 瑞樹

実習を通じて

今回、初めての精神科での長期実習で、精神科ということもあり、色々不安がありながら実習が始まりました。しかし、いざ実習が始まると、親切丁寧に指導いただき、精神科に対する考え方や人間意識についてなど、言動ひとつとっても繊細で配慮が必要であることを認識しました。

実習も残るところ四週間となりましたが、今では自分の目指している作業療法士という職業の奥深さ、面白みを感じることができています。ありがとうございます。

大阪河崎リハビリテーション大学 松村 涼太郎

地域連携室だより

告知：講演会「引きこもりの支援について」

講演日：令和元年9月21日（土）
主催：地域活動支援センターリエ
対象：三枝会（みつえだかい）家族様
場所：支援センター陽だまり

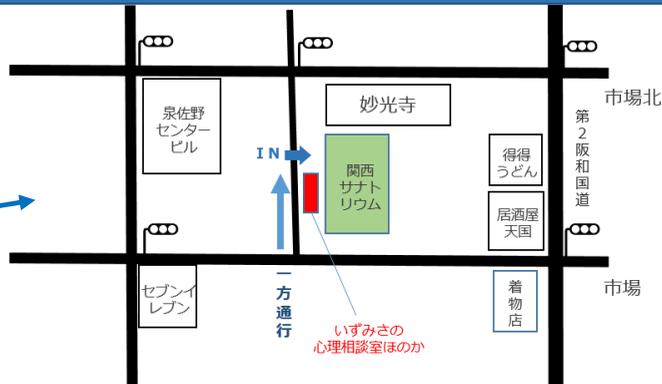
講師：訪問看護ステーションTERRACE
精神保健福祉士 三好 弘之
内容：引きこもりの現状と支援のありかた



令和元年9月21日（土）に地域活動支援センターリエ主催の三枝会（みつえだかい）の家族様を対象とした学習会に、当院の訪問看護ステーションTERRACEの三好が講師を務めることになりました。家族会とはお互いに支え合う、学び合う、働きかける場です。様々な困難を抱えたご家族が集まり、日頃の悩みや困っていることなどを話し合い、支え合いを通して、地域で安心して生活できるようになるために活動を行う自助グループになります。

関西サナトリウム 地域医療連携室

交通アクセス



○電車でお越しの方 南海泉佐野駅下車 南南東400m（徒歩5分）

○車でお越しの方

阪神高速湾岸線「泉佐野IC」より南東へ1km

関西空港道「泉佐野IC」より国道26号線右折→「市場」交差点を左折→200m右折

